

日本女性医療者連合（JAMP）の活動について

2021年2月7日

代表理事 津田喬子

コロナ禍に明けコロナ禍に暮れた2020年でしたが、会員の皆様にはお変わりないこととお慶び申し上げます。いつもご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

昨年は長いコロナ禍に前を塞がれ、JAMPの実質的活動が停滞してしまったことをお詫び致します。

2020年9月6日（日）のJAMP総会において、一般財団法人日本女性財団（2020年8月7日設立、対馬ルリ子代表理事）に協力団体として参加、ならびに従来からのウイメンズ・ヘルス・アクション活動への参加を承認いただきました。

日本女性財団による医療福祉機構への助成金申請に、JAMPも連携団体として名を連ねることとなりました。詳細は後ほどお知らせ致します。ウイメンズ・ヘルス・アクションについては、本年3月の女性の健康週間に合わせて3月6日・7日の両日に初のオンラインイベントが企画されまし

た。2月15日(月)の実行委員会オンラインミーティングにJAMP代表として津田が参加して、企画内容をご報告したいと考えております。

さて、2021年1月31日(日)に、国際婦人年連絡会の2020年度第5回セミナーにおいて、JAMP理事である種部恭子先生が講演されました。

ご存知のとおり、種部先生は富山県議会議員としてご活躍されていますが、内閣府第5次男女共同参画基本計画策定専門調査会委員、(公社)日本産科婦人科学会リプロダクティブヘルス普及推進委員会委員、(公社)日本産婦人科医会常務理事として、精力的に国政ならびに学会における活動をされています。

種部先生にご講演内容をまとめていただきましたので、HPのトピックス欄でご紹介いたします。私の感想もお目通しいただければ幸いです。

今後ともJAMPの活動にご指導、ご支援をお願い申し上げます。